

## (2) - 4) ③薬草を活用した料理開発とカフェの運営（熊本県 小岱山薬草の会）

自生薬草の保護と栽培を通じて、薬草を利用して商品や料理開発、カフェの運営を行う。市民への普及啓発や観光面での利用を促し、地域の活性化に役立っている。



小岱山薬草の会員メンバー

### a. 取組の背景と経緯

玉名市と崇城大学が地域連携協定で薬草の活用方法を模索。崇城大薬学部の村上光太郎教授の指導のもと、小岱山に自生する薬草を保護し、健康増進と地域や家庭への普及を目的に「小岱山薬草の会」が発足し、次の取組を行うことで「薬草のまちづくり」を進めている。

- ・小岱山に自生する薬草の保護
- ・薬草観察、栽培、料理方法などに関する講座
- ・薬草を使用した家庭料理の実演、PR
- ・薬草園の設置と薬草知識の普及
- ・薬草による健康増進、食育等に関する情報収集
- ・薬草の家庭及び地域への普及推進によるまちづくり

### b. 活用方法

#### ■特産品開発

身近な野草を利用した薬草販売を行っている。オオバコ、ナズナ、クズ花、カワラケツメイ、ゲンノショウコ、メナモミなどをパッケージ化して販売している。また地元旅館などとも連携し薬草を用いたアメニティー（ボディーケア製品など）等も開発している。

#### ■薬草料理の開発とカフェ「たんぼぼ」の運営

薬草を使ったカレーやタンポポコーヒー、お茶、オオバコアイス、薬草の天ぷら、ゼリー、チーズケーキ、パスタ、パンなどの様々な薬草料理を開発。地元の小麦粉や菜種油を使う等薬草以外の地域資源も利用した健康と品質に配慮したメニュー作りが行われている。

開発された薬草料理によってカフェ「たんぼぼ」が運営されており好評を博している他、オオバコアイスなどは旅館でも販売されている。

#### ■観光資源としての活用

市内公園花壇を利用した多種薬草栽培や観察会、講演会、料理教室、薬草料理の実演販売など話題性

の高い企画やイベントは、マスコミに取り上げられる機会が多く、熊本県内外から視察や見学が増え、観光客の増加にも寄与している。

以下の写真は開発された特産品例



オオパコアイス



オオパコだご汁セット



薬草カレーセット



薬草ゼリー クズ花

### c. 保全活動と野生生物への効果

荒廃農地の改善に薬草栽培を利用する等の試みがおこなわれ、タンポポ、スギナなどを利用した薬草茶の開発・販売など、里地里山保全・活用活動への拡大展開がみられる。

また、市内の玉名温泉との連携が促進され、観光面での地域づくりへの貢献が評価されており、2011年には「くまもと観光賞」を受賞九州新幹線新玉名駅に「薬草ダイニングたんぼぼ」がオープンするなど、薬草をテーマにした観光面での更なる活性化が期待されている。